

建設環境委員会

令和2年2月27日（木）

午前10時50分～午後0時10分

議会第4会議室

【出席委員】山田誠一郎委員長、野中康弘副委員長、中村宏志委員、川副龍之介委員、堤 正之委員、武藤恭博委員、中野茂康委員、黒田利人委員、西岡義広委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・上下水道局 田中上下水道局長
- ・環境部 喜多環境部長
- ・建設部 千瀉建設部長
- ほか、関係職員

【案件】

- ・付託議案について

○山田委員長

ただいまから建設環境委員会を開催します。

それでは、委員会の審査日程について、お手元の審査日程案のとおり進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議ないようですので、この審査日程どおり審査を行います。

なお、付託議案に関連して現地視察を希望される場合は、審査終了までにお申し出いただきたいと思えます。

それでは、日程に基づき、付託議案の審査を行いますので、環境部、建設部の職員の皆様は御退室いただいて結構でございます。

◎執行部退室

○山田委員長

それでは、上下水道局に関する議案の審査を行います。

まず、第14号議案を審査いたします。執行部に説明を求めます。

◎第14号議案 令和元年度佐賀市水道事業会計補正予算（第3号） 説明

○山田委員長

ただいまの説明について委員の皆様から御質疑をお受けいたします。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○堤委員

大変素朴なことですが、2点お伺いします。

まず1点ですが、給水戸数が見込みよりマイナスの823戸減ったということですね。これって原因は何ですか。何か随分大きな数字みたいに見えるんですが、お願いします。

○宮原業務課長

当初ですが、約1,600ぐらい増えるだろうと。その要因は開発です。今、開発がどんどん行われてきていたという部分と、10月からの消費税の10%へのアップで、駆け込みがあるだろうということで想定をしておりました。特に5%から8%のときは大きな駆け込み需要というのがありました。思ったより、開発も余り減ってきたと、駆け込み需要もなかったということで、想定がちょっと大きかったのかなということで考えております。以上です。

○堤委員

分かりました。

もう一点、5ページのところの資本的支出の中の、排水管整備費の中の工法の変更ということでおっしゃいました。勉強会のときも出ましたけれども、推進工法から橋梁添架工法というふうにおっしゃいましたが、どんな工法のことでしょうか。

○中島水道工務課長

一つ、路線の中に河川がございまして、河川を横断するに当たり、推進工法というのは橋の下の方をトンネルのような形で置く推進工法で初めは考えておりました。それが、再度、現地調査した結果、地中じゃなくて、地上というか、橋の横に架ける橋梁添架ということで、その工法に変えたためです。

○山田委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに御質疑もないようですので、第14号議案の質疑を終わります。

次に、第15号議案を審査します。

執行部に説明を求めます。

◎第15号議案 令和元年度佐賀市下水道事業会計補正予算(第2号) 説明

○山田委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けしたいと思っておりますので、御質疑がある方は挙手をお願いいたします。

○堤委員

バイオマス受入れ事業の分でお尋ねでございます。

まず単純なことから、まず二条圧送という言葉が時々出てはいますが、これはどういったふうなことなのか、2本の線、管を布設するという意味なのか、ちょっとお尋ねします。

○江頭下水エネルギー推進室長

ポリエチレン管を2本入れるということでございます。並走して入れるということでございます。

○堤委員

それはリスク分散か何かやるためなんですかね。

○江頭下水エネルギー推進室長

今、国からのほうの通達も来ておりまして、圧送管のほうは、自然流下式と比べて管理がしにくいという部分もございまして、二条管を入れるということが基本的な考え方になっているところでございます。

○堤委員

分かりました。

もう一つ、この事業を行うことによる自給率の向上を図りとなっておりますが、どれくらいの現状と向上を見込んでいらっしゃるのか、お尋ねします。

○江頭下水エネルギー推進室長

電力自給率の向上につきましては、今現在、約40%程度の電力自給率がございます。今回、バイオマス事業といたしましては衛生センターだけではございまして、もう一つ味の素のほうからもバイオマスを受け入れる計画でございまして、合わせまして、現時点では55%を超えるぐらいの電力自給率を見込んでいるところでございます。

○堤委員

この消化ガスを使った発電については、もうずっと以前に、ぜひやっていこうということで進んできたわけですが、大体その当時の運用のあれでいくと、50%ぐらいは達成しているようには聞いていたんですけども、先ほど40%とおっしゃいましたけれども、いわゆるいろんな施設が増えて消費電力が増えたのかどうか、そこら辺の違いは何でしょうか。

○花島下水道施設課長

先ほど申しましたように、現状では40%程度でございますけれども、施設といたしましては、大きな電力を消費するものが増えているという状況ではございませんけれども、やはり下水道の処理量が伸びることに伴って送風機でありますとか、ポンプの稼働については増えていっている状況でございます。以上です。

○山田委員長

ほかにございませんか。

○西岡義広委員

補正に伴って決算に見込むんだというふうな説明が冒頭あったかと思いますが、水洗化戸数ということで、今現在、8万1,173戸という形が1ページに出ているかと思いますが、農村下水道という形で、一番最初、試験的に旧佐賀市の時代には西与賀の元相応地区、その辺が接続率100%になつるか、まだなっていないのかなと思って私は質問しているん

ですが、その辺いかがですか。

○宮原業務課長

旧佐賀市の元相応地区と蓮池地区がなっておりません。今、元相応だけの資料は持ち合
わせませんが、農村集落排水で、今年度末の見込みが77.4%です。

○業務課参事兼給排水設備係長

元相応地区で普及世帯58件に対しまして47件、平成30年度末で81%の水洗化率です。以
上です。

○西岡義広委員

この部分は地元の説明も十分になされて同意を取られて始めた事業だと私は認識してい
るんですが、その辺の接続率がまだ全てじゃないので、この辺の部分の上下水道局として
の努力はどういうふうな形でとっておるか、ちょっと教えてください。

○業務課参事兼給排水設備係長

事業全体の接続率として、昨年度末で91%、それに対して81%というのは少ないと思っ
ています。委員おっしゃるとおり、事業の開始当初は、集落の同意100%で始めた事業で
ございまして、その後、接続に至らない理由としては、代替わりとか家がなくなっている
とか、いろんな理由があります。そこで、私どもは農集も含めた全ての事業において接続
促進を図っておりますので、今後とも集中的に接続促進をしていきたいと思っています。

○西岡義広委員

何か役所答弁みたいな形で、具体的にどんな努力をして、最初はこだけだったが、そ
の後はこれだけ増えた、それはどうやったという形を言ってくれないと。まだ接続してい
ない方がおられますので、世代も交代しているということは十分把握しているですよ。ね。
だから、もう少し努力をしろという意味で質問しているわけなんです、いかがですか。

○業務課参事兼給排水設備係長

数字を見てみますと、事業開始当初21年が当然62%、どんどん伸びていって、平成28年
度で78%、平成30年度で82%に乗ったという状況です。現在は公共下水道の面整備が終
わったところを中心に接続の意思が高いほうを接続促進してまいりましたけれども、今後、
接続されていない理由を分析させていただいて、地区ごとに回っていきたいというふう
に思っております。

○西岡義広委員

次は蓮池をちょっと聞かせてください。

○業務課参事兼給排水設備係長

蓮池は、平成30年度末で755世帯に対しまして456世帯、水洗化率として60.4%と低い数
字になっております。

○西岡義広委員

もう一つ一つ言わないんですが、ある程度、確かに高齢化もかなり進んでから、どうし

でも予算関係が捻出できないとか、いろんな諸事情もあるかと思いますが、ちょっとあんまり低過ぎるなという形で、今答弁いただいたんですが、努力を、頑張っていたきたいと。

○田中上下水道局長

まさに言われるとおりでございます。そういう中で、私どもも専門の推進員を置きながら、毎年、チラシを配り、場合によっては戸別訪問もさせていただきながら推進をずっとしているところでございますが、特に委員おっしゃいますように、周辺の市街地の外側の農業集落排水事業の集落については、現在過疎化も進行しておりまして、また、空き家率も都市部と比べると非常に高くなってきております。そういう意味では、パイ全体も、先ほど言いましたようなパイの中に既に空き家率が15%、20%達しているような集落もございます。

そういう中で、先ほど言いますように戸別訪問もしながら進めておりますが、やはり人員の構成からいきますと高齢者の2人世帯の御家族とか、もしくは1人世帯の方とかもございます。場合によっては、住居はございますが、既に福祉施設のほうに入居されているような方もございまして、私たちが汗をかいておりますが、なかなかその反応が鈍い状況がございます。

そう言いながらも、やはり水洗化をしていくということはこれから佐賀市が目指していく福祉のまちづくりの中では、やはり便器もしっかりと洋式トイレに変えて、くみ取りから洋式トイレに変えていくことで快適な住環境の整備もできていきますので、そういう意味も含ませていただきながら、推進をさせていただいておりますが、やはり苦慮をしている状況でございます。

○西岡義広委員

公共下水道もちょっと教えてください。100%ではないというふうに認識しているんですが。

○宮原業務課長

公共下水道については、今年度末見込みが91.9%であります。

○西岡義広委員

どのような努力をしているか言ってくれないと。

○宮原業務課長

接続促進については、接続指導員1名、専門にされている方がいらっしゃいますが、今年度は約3,000件を回る予定であります。今、2,740件終了しておりまして、川副地区に4月、5月に回っております。約490件、諸富地区、5月から9月までで1,210件回っております。また、大和地区が9月から1月に1,040件、また、職員に戸別訪問ということで、苦情等に絡んで19件、市内のアパート等、そういうところにも行っております。

また、局職員の下水道の接続調査等も行っておりまして、新規に異動、また新規採用さ

れた方も、家族まで含めて調査をしております。また、市職員の新採の方々も調査をして、面接して接続指導という形でやっております。

また、業務委託もしておりますが、委託従事者の皆さん方にもアンケートを取りながら、接続されていない方については接続のお願いをしております。

また、年に1回、秋口に局職員一斉指導ということで、局職員全員が接続されていないところを回って、接続のお願いをしているというような状況です。

また、業務課のほうで夜間に訪問をしてやっております。以上です。

○西岡義広委員

今、接続率が91.9%という答弁いただいたかと思うんですが、対象世帯数が幾らで、接続していないところが何世帯かという部分をちょっと。努力は分かりましたが、その辺の分。公共下水道のエリアの世帯数ですよ。

○業務課参事兼給排水設備係長

平成30年度末で公共下水道普及世帯が、対象世帯が6万9,970世帯。元年度末の見込みで7万621世帯に対しまして、水洗化世帯が6万4,877世帯、91.9%になっております。以上です。

○西岡義広委員

済みません、もうちょっとゆっくり言ってくれないと。

○業務課参事兼給排水設備係長

もう一度言います。元年度末見込みで世帯数が7万621世帯に対しまして、接続している世帯が6万4,877世帯、率にしまして91.9%です。以上です。

○山田委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかにも御質疑もないようですので、上下水道局に関する議案の質疑を終わります。

上下水道局の職員の皆様、御退室いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

◎執行部入れ替わり

○山田委員長

それでは、環境部に関する議案の審査に入ります。

第10号議案を審査いたします。執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 令和元年度佐賀市一般会計補正予算(第7号) 説明

○山田委員長

ただいまの説明について、委員の皆様のお受けいたします。質疑のある方は挙手をお願いいたします。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑もないようですので、環境部に関する議案の質疑を終わります。

環境部の職員の皆様、御退室いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

◎執行部入れ替わり

○山田委員長

それでは、建設部に関する議案の審査に入りますが、皆様にお諮りしたいと思います。

審査途中で12時過ぎても最後まで行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、第10号議案を審査しますので、執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 令和元年度佐賀市一般会計補正予算(第7号) 説明

○山田委員長

ただいまの説明について委員の皆様から質疑をお受けいたします。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○川副委員

公園整備事業で750万円の増額ということで、これは城内の公園の整備、県の事業の整備でしたかね。県営事業の負担ということで、市の負担割合はどのくらいですか。

○岩永副理事兼緑化推進課長

県の事業が国の補助事業である場合、市の負担が4分の1です。県の単独事業である場合が、市の負担は2分の1となっております。

○山田委員長

ほかにございませんか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに質疑もないようですので、建設部に関する議案の質疑を終わります。

建設部の職員の皆様は御退室いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

委員の皆様はこのままお待ちください。

◎執行部退室

○山田委員長

今回の付託議案の審査に関して、現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

現地視察の希望はないということで、視察はないということで決めたいと思います。

それで、委員会の付託された議案の審査を終了しました。

それでは、引き続き採決に移りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、採決に入ります前に、今回当委員会に付託された議案について反対意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、全ての議案について一括して簡易採決を行いたいと思いま

すが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしということですので、そのように採決します。

お諮りいたします。当委員会に付託された第10号、第14号及び第15号議案について原案を可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしと認めます。よって、当委員会に付託された全ての議案について原案を可決すべきものと決定をいたしました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了しました。

次に、本会議での委員長報告についてはいかがいたしましょうか。

よろしいですか。

それでは、意見もないようですので、あとは正副委員長に一任ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、そのように取り計らいたいと思います。

次に、先進地視察の日程、視察先の決定についてですが、案としては5月11日月曜日から13日水曜日、もう一つが5月18日月曜日から20日水曜日、この2泊3日で、どちらの期間がよいか、皆さんに日程表を見ながらお決めいただきたいと思います。

◎ 行政視察に関する委員間協議

○山田委員長

今定例会の最後の委員会で決定したいと思います。よろしいでしょうか。

視察先の御希望は、3月6日木曜日までに御報告いただければと思います。よろしいでしょうか。

最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして委員会における字句、数字、その他の整理についてお諮りいたします。

本委員会の会議録につきましては、字句、数字その他の整理については、委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないようでございますので、委員長に委任とすることに決定いたしました。

それでは、以上をもちまして、建設環境委員会は終了いたします。